

学校におけるICTの活用

■ 1人1台パソコンの活用に関する児童生徒へのアンケート

週1回以上の授業での活用 **小学校94.6%** **中学校81.1%**

調査時期：令和5年10月～11月

対象学年：小学校6年生及び中学校3年生



■ 1人1台パソコン活用の取組状況に関する意見

- 教員が1人1台パソコンを活用しないために、学習機会や活用能力の育成が進まないことは問題である。
- 教員がまず使ってみる段階へ進むことが重要。迅速に取り組む必要がある。
- 1人1台パソコンを活用していない教員への直接のアプローチが必要である。

活用していない教員への対応

【総合教育会議以降】

＜ 活用したことがない教員の把握と直接的アプローチの実施 ＞

- ▶ 学校長から教員に授業での使用を働きかけ
- ▶ 指導主事やインフルエンサーが学校訪問し、授業での使用の働きかけや教員の授業等に参加

【現在の状況】

教員が実際に授業で1人1台パソコンを使用
＜全ての教員が1人1台パソコンを使用＞

【今後の展開】

GIGAスクールの推進による教育効果の最大化の実現に向け、
1人1台パソコンを「慣れる、使う」段階から「活用する」段階へステップアップ

「活用する」段階へのステップアップ

■ 子どもの学びの質を高めます

1人1台パソコンを日々の授業で積極的に活用することで、子どもの学びの状況に応じた取組や、子どもたちが一緒に考え、そして、より深く学ぶ機会を増やします。



■ ICT機能を効果的に活用します

視覚や読字に課題がある子どもに対して文字読みあげ機能を活用した学習方法を取り入れるなど、ICT機能を効果的に活用できる機会を増やすことで、多様な子どもに応じたきめ細かな対応を実現します。

個別最適な学びへの一歩！
さまざまな使い方ができる万能機能
～イマージブリーダーWORD web版編～

支援学級などで、なかなか文字が読めない児童への支援としても使えます。また、品詞で色分けもしてくれるので英語の文章も構文を意識するのにも役立ちます。リーディングコーチもあるので、読み上げてもらった文章を自分で練習していただけます。

**リーディング
コーチ**

読み上げ速度
変更可能

品詞で色分け

フォーカス機能で
どこを読んでいる
わかる！

■ 業務の効率化、共有化を図ります

各学年、各教科のICTを活用した具体的な授業事例を全学校で共有し、全ての教員がいつでも閲覧・活用できる環境を整えるほか、採点、授業準備、教材研究での活用を進めます。

